

春の火災予防運動

3月1日(木)～7日(水)

平成18年中に岡谷市内で発生した火災は29件で、建物、車両火災が増加しました。火気取扱い中にその場を離れる、タコ足配線、車両の整備不良など注意すれば防止できたものもありました。

『自分の家は大丈夫』といった油断は禁物です。

春先は空気が乾燥し火災が発生しやすい季節です。火の取扱いには十分注意しましょう。

「防災ふれあい広場」 家族そろって防火を体験しよう!

日時 3月4日(日) 午前10時～4時

場所 アピタ岡谷店

◇防火ふれあいコンサート ①午前11時～
②午後1時30分～

- ◇地震体験車
- ◇消防団活動写真展
- ◇消火器体験
- ◇豪雨災害写真展示
- ◇住宅用火災警報器展示



岡谷市消防音楽隊

火の用心 3つの習慣



①

寝たばこは絶対にやめる! ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



②



③

ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す!

消防団員募集中!!

問合せ 岡谷消防署 ☎22-0119

第7回岡谷市農業シンポジウム

「平成18年7月豪雨」により、岡谷市内の森林・農地は甚大な被害を受けました。特に山際の農地においては、鳥獣害等により著しく荒廃化してきているため、今後、災害・鳥獣害を受けにくい森林・農地の環境づくりについて考えます。

とき 2月21日(水) 午後4時～5時30分

ところ 市役所9階大会議室

入場無料

演題 「災害に強い森林・農地環境づくりに向けて」
～平成18年7月豪雨災害の教訓から～

講師 信州大学農学部 教授 北原 曜(きたはら ひかる)氏



【経歴】

- 1977～1993年 農林水産省林業試験場防災部 北海道支場治山研究室勤務
- 1993～2000年 農林水産省森林総合研究所 森林環境部治山研究室勤務
- 2000年～ 信州大学農学部

【現在の専門分野】 治山工学(山地崩壊、浸食)、森林水文学(山地土壌中の水移動)

【主な受賞歴】 1994年 日本林学会賞

【現在の研究課題】 山地における表面浸食メカニズムと森林の浸食防止機能の研究 など

主催 岡谷市農業振興連絡協議会

問合せ 農林水産課(内線1486)

県下および市内における平成18年の交通事故発生状況

平成18年の長野県下および岡谷市の交通事故の発生状況をみると、件数、死者数、負傷者数とも減少傾向にあり、発生件数では過去10年で最少の数字となっています。しかし事故の内訳では、高齢者事故(全事故の31.4%)は依然高い割合で発生しており、また飲酒運転事故は倍増しているなど、近年の社会情勢を反映した特徴的な傾向がみられます。

岡谷市内では12月に1件、1月に1件と、短期間のうちに2件死亡事故が発生しており、憂慮すべき状況になっています。

岡谷市の発生状況

	件数	死者数	負傷者数
平成18年	315	1	415
平成17年	347	2	440
増 減	△32	△1	△25

長野県内の発生状況

	件数	死者数	負傷者数
平成18年	13,123	128	17,106
平成17年	13,514	152	17,585
増 減	△391	△24	△479

発生事故の特徴

事故種別	件数	構成比
交差点事故	175件	55.6%
女性ドライバー	119件	37.8%
高齢者事故	99件	31.4%
飲酒運転事故	11件	3.5%

前年比83%増



市内で高齢者の重大事故が連続発生！

【高齢者事故防止のために】

- ・通り慣れた道ほど注意が必要です。
- ・車の直前、直後の横断は危険です。横断歩道のある場所を渡り、左右を十分確認のうえ、車が停止するのを待って横断しましょう。
- ・歩行者のみなさんは、車の運転者から目立つ服装を心がけ、夕暮れ時、夜間は夜光反射材を身につけましょう。
- ・運転者のみなさんは、横断歩道の手前で、歩行者、自転車に注意し、徐行・一時停止で道を譲りましょう。

湊成人学校

みなさんのご参加をお待ちしています

「ペン習字」

最近パソコンが主流で、字を書く機会が少なくなりましたが、日々の生活で字を書くことは欠かせません。日常生活に役立つペン習字を身に付けましょう。

期 間 2月27日、3月6日、13日、20日
毎週火曜日 全4回

時 間 午後1時～2時30分

定 員 20名

講 師 笠原 清子 先生

受講料 1,000円

材料費 1,000円程度(水性ボールペン・テキスト代含む)

受 付 2月23日(金)まで

※直接湊公民館窓口か、電話でお申し込みください。

※定員になり次第締め切らせていただきます。

「パッチワークに挑戦」

色、柄の異なる布をさまざまに組み合わせて、無限のパターンを作り出し、自分だけの作品(バッグ)を作ってみましょう。

期 間 3月9日、16日、23日、30日 毎週金曜日 全4回

時 間 午後1時30分～3時30分

定 員 15名

講 師 小口 洋子 先生

受講料 1,000円

材料費 2,000円程度(バッグ作成)

持ち物 筆記用具、裁縫道具一式

受 付 2月16日(金)～28日(水)

申込み・問合せ
湊公民館 ☎22-2300